

源泉部会報告会資料

と き 令和4年 5月 12日(木) 午後4時

会 場 京王クラブ (多摩市関戸)



公益社団法人 日野法人会

次 第

第 1 部 研修会 午後 4 時～午後 5 時

テーマ 国税庁の組織理念について
講 師 日野税務署副署長 伊藤 創 氏

第 2 部 報告会 午後 5 時 10 分～午後 5 時 30 分

- 1 開会の辞
- 2 部会長挨拶
- 3 活動報告
 - ・令和 3 年度事業活動報告
 - ・令和 3 年度収支決算報告
監査報告
 - ・令和 4 年度事業計画
 - ・平成 4 年度収支予算
- 4 来賓紹介
- 5 来賓祝辞
- 6 閉会の辞

令和3年度事業報告

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

I 事業関係

テーマ別研修会

① 8月18日

関戸一ノ宮コミュニティーセンター

会場出席5名 リモート出席6名

テーマ
講師

活用したい雇用関係の助成金について
特定社会保険労務士 盛田 寛昭 氏



② 11月4日

年末調整実践オンラインセミナー (Zoom ウェビナー)

出席20名

テーマ
講師

税理士がわかりやすくお伝えする
2021年版 年末調整実践セミナー
税理士 中島 加誉子 氏

③ 3月17日

関戸一ノ宮コミュニティーセンター

出席5名

第一講座
講師

源泉所得税の事例研究

日野税務署法人課税第一部門

源泉所得税担当上席 小野田 裕紀 氏

第二講座
講師

育児・介護休業法、社会保険に関する各種改正について

特定社会保険労務士 菅沼 真奈美 氏

※第二講座は、東京都労働相談情報センター八王子事務所と共催



- 2 「会社がもらえる助成金活用のポイント」の小冊子の配布
本冊子は、企業が人材を確保するために、雇用関係の助成金を活用する場面が増えてきていることを受け、助成金についてどのような手続きで、もらえるのかをわかりやすく解説
- 3 地球温暖化防止(CO2削減)への取り組み
地域社会貢献活動として、東京都地球温暖化対策報告書制度のPR及び、報告書の提出を推進した。
- 4 会員増強運動
親会組織委員会のもとで会員増強運動に積極的に取り組み、あわせて部会員の拡大につとめた。

II 会議関係

1 報告会

当初5月12日に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令中により参加者の安心安全を図るため中止した。
なお、活動報告の資料はホームページにて公開した。

2 役員会

- (1) 7月5日 法人会事務局 出席 6名
・令和2年度源泉部会活動報告
・今後の部会運営について
- (2) 3月9日 法人会事務局 出席 3名
・テーマ別研修会開催について
・部会報告会開催について

3 役員交流会

- (1) 交流ゴルフ大会
9月7日 大月カントリークラブ (中止)
- (2) 交流ゴルフ大会
10月5日 サンメンバースカントリークラブ 出席 6名
- (3) 交流ゴルフ大会
1月18日 PGM武蔵ゴルフクラブ 出席 6名

4 その他

伊藤部会長(業務執行理事・常任理事)が本部理事会へ出席した。

- | | | |
|-----|-------|------------------|
| 第1回 | 書面決議 | |
| 第2回 | 中止 | |
| 第3回 | 7月29日 | 関戸一ノ宮コミュニティーセンター |
| 第4回 | 9月28日 | 京王クラブ |
| 第6回 | 2月22日 | 関戸一ノ宮コミュニティーセンター |
| 第7回 | 3月29日 | 関戸一ノ宮コミュニティーセンター |

III その他

1 会員の異動状況

令和3年4月1日	入会数	退会数	令和4年3月31日
75 社	0 社	0 社	75 社

令和 3 年度収支決算報告

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

《収入の部》

単位:円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
補助金収入	245,000	245,000	0	親会より補助
雑 収 入	10,000	0	△10,000	
当期収入合計(A)	255,000	245,000	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計 (B)	255,000	245,000	△10,000	

《支出の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
報告会費	80,000	1,260	△78,740	会場費(中止)
会 議 費	20,000	13,956	△6,044	役員会
事 業 費	140,000	144,160	4,160	
研修会費	80,000	144,160	64,160	テーマ別研修会謝金、冊子送付
見学研修会費	60,000	0	△60,000	コロナ禍により中止
雑 費	10,000	220	△9,780	送金手数料
予 備 費	5,000	0	△5,000	
本部会計繰り戻し金	0	85,404	85,404	本部へ繰り戻し
当期支出合計(C)	255,000	245,000	△10,000	
当期収支差額 (A) - (C)	0	0	0	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0	

令和3年度決算は前記のとおり相違ありません。

令和4年4月1日

公益社団法人日野法人会源泉部会

部会長 伊藤 周二 ㊞

会 計 川俣 英雄 ㊞

監 査 報 告 書

前記の決算を監査の結果、その内容は正確かつ適正に処理されている
ことを認めます。

令和4年4月13日

公益社団法人日野法人会源泉部会

監 事 幡野 貴士 ㊞

令和4年度事業計画

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

事業活動方針

公益社団法人日野法人会の定款の目的に従って、事業活動を積極的に推進し、その発展に協力支援するとともに、源泉徴収義務者の税に対する理解と認識を深め、部会の資質の向上ならびに会員相互の交流を図る。

事業計画

- 1 部会員の資質の向上を図り、源泉徴収義務者としての必要な法規等についての研修会を開催する。

- (1) テーマ別研修会の開催

5月	報告会時	時流に合ったテーマで
6月	税制改正等最新の税情報	
9月	源泉所得税実務講座①	
11月	年末調整のしかた	
1月	源泉所得税実務講座②	

- (2) 社会保険・労働保険セミナーの開催

社会保険・労働保険等の基礎知識や改正事項の習得を目的に、テーマ別研修会時に合わせて開催する。

9月	社会保険・労働保険セミナー①
1月	社会保険・労働保険セミナー②

- 2 国税電子申告・納税システム(e-tax)の普及促進
 - ・役員、部会員のe-taxでの申告納付の一層の普及促進
- 3 地域社会貢献活動として、地球温暖化防止(CO2削減)への取り組み
 - ・東法連と連携した東京都地球温暖化対策報告書制度の提出の促進、普及を図る。
- 4 親会の会員増強運動に積極的に協力し、併せて部会員の拡大及び組織の強化を図る。
- 5 部会員相互の連絡協調を密にするため、研修・交流を目的とした事業を開催する。
10月 日帰りバス見学研修会
- 6 租税教育並びに地域社会貢献活動の推進
- 7 源泉所得税、消費税等の期限内納税の推進
- 8 本部・地区・支部事業への積極的参加
- 9 その他
本会の目的達成に必要なこと

令和 4 年度収支予算

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

《収入の部》

単位:

円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
補助金収入	245,000	245,000	0	親会より補助
雑 収 入	10,000	10,000	0	
当期収入合計(A)	255,000	255,000	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計 (B)	255,000	255,000	0	

《支出の部》

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
報告会費	80,000	80,000	0	
会 議 費	20,000	20,000	0	役員会
事 業 費	140,000	140,000	0	
研修会費	80,000	80,000	0	研修会講師謝金、会場費ほか
見学研修会費	60,000	60,000	0	日帰り見学研修会
雑 費	10,000	10,000	0	
予 備 費	5,000	5,000	0	
当期支出合計(C)	255,000	255,000	0	
当期収支差額 (A) - (C)	0	0	0	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0	